孟母断機

上村松園

青空文庫

「その父賢にして、その子の愚なるものは稀（めずら）しからず。その母賢にして、その子の愚なる者にいたりては、けだし古来稀（まれ）なり」

わたくしは、かつてのわたくしの作「孟母断機」の図を憶い出すごとに、一代の儒者、安井息軒先生の、右のお言葉を連想するを常としている。

嘉永六年アメリカの黒船が日本に来て以来、息軒先生は「海防私議」一巻を著わされ、軍艦の製造、海辺の築堡、糧食の保蓄などについて大いに論じられ——今日の大問題を遠く嘉永のむかしに叫ばれ、その他「管子纂話」「左伝輯釈」「論語集説」等のたくさんの著書を遺されたが、わたくしは、先生の数多くの著書よりも、右のお言葉に勝る大きな教訓はないと信じている。

まことに、子の教育者として、母親ほどそれに適したものはなく、それだけに、母親の責任の重大であることを痛感しないではいられない。

息軒先生のご名言のごとく、賢母の子に愚なものはひとりもないのである。

昔から名将の母、偉大なる政治家の母、衆にすぐれた偉人の母に、ひとりとして賢母でない方はないと言っても過言ではない。

孟子の母も、その例にもれず、すぐれた賢母であった。

孟子の母は、わが子孟子を立派にそだてることは、母として最高の義務（つとめ）であり、子を立派にそだてることは、それがすなわち国家へのご奉公であると考えた。

それで、その苦心はなみなみならぬものがあったのである。

孟子は子供の時分、母と一緒に住んでいた家が墓場に近かった。

孟子は友達と遊戯をするのに、よくお葬式の真似をした。

母は、その遊びを眺めながら、これは困ったことを覚えたものであると思った。明け暮れお葬式の真似をしていたのでは、三つ子の魂百までもの譬えで、将来に良い影響は及ぼさぬと考えた。

そう気づくと、母は孟子を連れて早速遠くへ引越してしまった。

ところが、そこは市場の近くであったので、孟子は間もなく商人の真似をし出した。近所の友達と、売ったとか買ったとかばかり言っている。

三度目に引越したところは、学校の近くであった。

すると果たして孟子は本を読む真似をしたり、字を書く遊びをしたり、礼儀作法の真似をし

てたのしんだ。

孟子の母は、はじめて愁眉をひらいて、そこに永住する決意をしたのである。

世に謂う孟母三遷の有名な話であるが、孟母は、これほどにまでして育てた孟子も、成長したので思い切って他国へ学問にやってしまった。

しかし、年少の孟子は、国にのこした母が恋しくてならなかった。

ある日、母恋しさに、孟子はひょっこりと母のもとへ帰って来たのである。

ちょうどそのときは、孟母は機を織っていた。母は孟子の姿を見ると、一瞬はうれしそうであったが、すぐに容子を変えて、優しくこう訊ねた。

「孟子よ。学問はすっかり出来ましたか」

孟子は、母からそう問われると、ちょっとまごついた。

「はい、お母さま。やはり以前と同じところを学んでいますが、いくらやっても駄目なので、やめて帰りました」

この答えをきいた孟母は、いきなり傍の刃物をとりあげると、苦心の織物を途中で剪ってしまった。そして孟子を訓した。

「ごらんなさい、この布れを――お前が学問を中途にやめるのも、この織物を中途でやめるのも、結果は同じですよ」

孟子は、母が夜もろくろく寝ずに織った、この尊い織物が、まだ完成をみないうちに断られたことを、こよなく悔いた。母にすまない気持ちが、年少の孟子の心を激しくゆすぶったのである。

孟子は、その場で、自分の精神の弱さを詫びて、再び都へ学問に戻った。

数年ののち、天下第一の学者となった孟子に、もしあのときの母親のきびしい訓戒がなかったなら、果たして孟子は、あれだけの学者になれていたであろうか。

まことに、賢母こそ国の宝と申さねばなりますまい。

「孟母断機」の図を描いたのは、明治三十二年であった。

そのころ、わたくしは市村水香先生に就いて漢学を勉強していい、その御講義に、この話が出たので、いたく刺戟されて筆を執ったものであるが、これは「遊女亀遊」や「税所敦子孝養図」などと、一脈相通ずる、わたくしの教訓画として、今もって懐かしい作のひとつである。

「その父賢にして、その子の愚なるものは稀しからず、その母賢にして、その子の愚なる者にいたりては、けだし古来稀なり」

息軒安井仲平先生のお言葉こそ、決戦下の日本婦人の大いに味わわなくてはならぬ千古不滅

の金言ではなかろうか。そして孟母の心構えをもって、次代の子女を教育してゆかねばならぬのではなかろうか。

——孟母断機の故事を憶うたびに、わたくしは、それをおもうのである。

青空文庫情報

底本：「青眉抄・青眉抄拾遺」講談社
1976（昭和51）年11月10日初版発行
1977（昭和52）年5月31日第2刷
入力：川山隆
校正：鈴木厚司
2008年4月5日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

孟母断機

上村松園

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/